

新潟薬科大学薬学部授業科目履修規程

(趣旨)

第1条 この規程は、新潟薬科大学学則（以下「学則」という。）第43条及び新潟薬科大学授業科目の区分等に関する規程第4条の規定に基づき、薬学部の教育課程及び履修方法等に関し必要な事項を定めるものとする。

(授業科目の履修)

第2条 授業科目の区分、単位数、履修年次学期及び必修選択の別は、別表のとおりとする。

2 履修できる授業科目は、在籍学年が別表の各授業科目の配当学年以上であることとする。

3 必修科目については、履修申請を必要としない。

4 選択必修科目及び選択科目の履修に当たっては、所定の期日までに履修申請しなければならない。

5 選択必修科目及び選択科目の履修申請について、その科目の履修申請数が定員を超えたときには、履修を許可しない場合がある。

6 過年度に履修した科目を再度履修（以下、「再履修」という。）する際は、履修申請しなければならない。

7 受け付けられた履修申請は、原則として変更を認めない。

8 同じ曜日・時限に開講される複数科目を重複して履修することはできない。ただし、総合科目との重複履修については、認めることがある。

9 次学年に進級できなかった者（以下「留年者」）の履修の特例については別に定める。

(授業の出席)

第3条 授業はすべて出席しなければならない。ただし、公欠、忌引は欠席に算入しない。

2 公欠は届出により大学が適当と認めた場合とし、忌引は父母の喪（7日以内）、祖父母・兄弟姉妹の喪（5日以内）その他届出により大学が適当と認めた場合とする。いずれも欠席届にその旨を記載し、アドバイザー承認の上届け出なければならない。

(試験の種類等)

第4条 授業科目の単位取得の認定は試験によって判定する。試験は、定期試験、追試験、再試験及びその他の試験の4種類とし、予め必要事項を発表して学期末又は学年末等別に定める期間に実施する。

2 追試験は以下のいずれかの事由に該当し、所定の期日までにその事由を証明する書類を添えて申請があった場合に実施する。

(1) 学校保健安全法施行規則が定める感染症に罹患し登校禁止となった場合。

(2) 公共交通機関の乱れにより、登校できなかった場合。

(3) 天災の発生により、登校できなかった場合。

(4) 忌引きにより、登校できなかった場合。なお、忌引きは父母の喪（7日以内）、祖父母・兄弟姉妹の喪（5日以内）とする。

(5) その他大学が適当と認めた場合。

3 前項の規定を受けて受験した科目の最高評価点は、90点とする。

4 定期試験の結果、成績不良の者に対して、当該科目の担当教員が必要と認めた場合、再試験を行う。

5 前項に定める再試験は、年度内に1度受験できる。ただし、4年次前期科目及び6年次前期科目の再試験にあつては、2度の受験を認めることがある。

6 前第4項の規定を受けて受験した科目の最高評価点は、60点とする。

7 担当教員が必要と認めたとき、臨時に試験を行うことがある。

(受験資格)

第5条 定期試験は、各科目につき授業時間数の3分の2以上出席している者に受験資格を与える。ただし、定められた期限までに所定の学費を納入していない者には受験資格を与えない。

2 追試験及び再試験（以下、「追再試験」という。）については、定期試験の受験資格を与えられた者で、かつ定められた期限までに受験の届出をした者に受験資格を与える。

3 再試験を受験する際は、当該科目を履修した後に実施された当該科目の全ての追再試験に対して受験の届出をしていなければならない。

4 追試験を受験する者は、1科目につき1,000円の手数料を納付しなければならない。

5 再試験を受験する者は、1科目につき2,000円の手数料を納付しなければならない。

(受験上の順守事項)

第6条 第4条及びこれに準ずる試験の受験に際しては、別に定める事項を順守しなければならない。

(試験の欠席)

第7条 定期試験又はその他の試験を欠席した者

は、当該試験日から1週間以内に試験欠席届をアドバイザー承認の上、提出しなければならない。

- 2 やむを得ない事情により、試験欠席届を提出できなかった者に対しての措置については、教授会の議を経るものとする。

(成績評価と単位の認定)

- 第8条 成績評価は、100点を満点とし、評価点が90点以上を秀、90点未満80点以上を優、80点未満70点以上を良、70点未満60点以上を可及び60点未満を不可とする。

(前年次までの未修得科目の修得)

- 第9条 前年次までの未修得科目については、再試験を受験して単位を修得するものとする。ただし、時間割上、履修が可能な場合には、再履修することができる。

(進級)

- 第10条 各学年において、別に定める進級基準を満たす単位を修得した者は、次学年に進級できる。

(留年者の授業科目の履修の特例)

- 第11条 留年者は、当該年次の未修得科目の単位を修得する際には、再履修しなければならない。

- 2 留年者は、当該年次の既修得科目のうち、教科担当者により指定された必修科目及び選択必修科目については、再履修しなければならない。

- 3 留年者は、当該年次の科目で、過年度に既に修得した科目について、申請の上再履修することができる。

- 4 前2項で履修した科目の成績は、再履修で得た成績と既修得成績のいずれかよい方とする。

- 5 第2条第2項の規定にかかわらず、留年した年度に限り、次学年に配当された科目(以下「次年次科目」と言う。)を、各学期3単位を上限として履修することができる。ただし、実習・実技・(実習扱いの)演習科目は履修できない。

- 6 次年次科目の履修を希望する者は、履修申請しなければならない。

- 7 次年次科目の定期試験の結果が不合格の場合は、再試験を受験を認めない。ただし、天災又は疾病その他やむを得ない事情により定期試験を欠席した場合は、追試験を受験を認めることがある。

- 8 前3項の次年次科目の単位は、当該年次の進級判定の対象としない。

附 則

この規程は、昭和63年4月1日から施行する。

(追再試手数料の改訂)

附 則

この規程は、平成2年4月1日から施行する。

(試験欠席届の変更)

附 則

この規程は、平成12年4月1日から施行する。

(第2条の別表第2における授業科目の名称の変更)

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。(第6条の規程の変更)

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。(第2条の別表第1、別表第2及び別表第3の規定、第5条の規定、第11条の規定、第12条の進級基準及び注意事項の規定の変更)ただし、変更後の別表第1の規定については、平成18年度入学生から適用し、平成17年度入学生及び平成16年度1年次入学生に対しては、変更後の別表第1の規定のかわりに別表第2の規定を、平成16年度2年次編入生及び平成15年度までに入学した学生に対しては、変更後の別表第1の規定のかわりに別表第3の規定を適用する。また、変更後の第11条の規定については、平成18年度入学生から適用し、平成17年度までに入学した学生は、卒業試験合格をもって薬学総合演習の単位修得とする。なお、変更後の第5条の規定、第12条の進級基準及び注意事項の規定については、施行日現在において在籍する者から適用する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。(第2条の別表第1及び別表第2の変更)

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。(第2条の別表第1の変更)ただし、変更後の別表第1の規定について開講年次が繰り下がる科目についての進級基準への取扱いについては、当該年度の進級判定まで進級基準に含まない。

「医薬品のコアとパーツⅡ」は4年次への進級基準からは除外する。

「薬理作用と副作用Ⅳ」は4年次への進級基準からは除外する。

「疾患と薬物治療Ⅰ」は4年次への進級基準からは除外する。

「疾患と薬物治療Ⅱ」は4年次への進級基準からは除外する。

「薬物治療学実習」は4年次への進級基準からは除外する。

「調剤学実習」は4年次への進級基準からは除外

する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。(第2条の別表第1及び第5条の変更)

「卒業研究Ⅱ」は5年次から6年次前期までに履修する。従って5年次から6年次への進級基準には含まない。また「疾病の成り立ちⅠ(病理学Ⅰ)」、「疾病の成り立ちⅡ(病理学Ⅱ)」、「社会保障と医療経済(医療経済学)」、「医薬品の開発Ⅱ(臨床統計学)」、「処方せんと調剤Ⅱ(臨床薬剤治療学)」、「疾患と薬物治療Ⅰ(薬物治療学Ⅰ)」、「疾患と薬物治療Ⅱ(薬物治療学Ⅱ)」、「疾患と薬物治療Ⅲ(薬物治療学Ⅲ)」、「疾患と薬物治療Ⅳ(薬物治療学Ⅳ)」は4年次から5年次への進級判定まで進級基準に含まない。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。(第2条の別表第1及び第5条の変更)

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。(第2条の別表第1、別表第2及び別表第3、第11条の規定、第12条の進級基準及び注意事項、並びに受験心得の変更)ただし、変更後の別表第1の規定については、平成23年度1年次入学生から適用し、平成18年度から平成22年度までの入学生で施行日現在1年次から4年次までに在籍する者及び平成23年度の2年次以上に編入学等を行った者に対しては、別表第1のかわりに別表第2の規定を適用し、施行日現在5年次または6年次に在籍する者に対しては、別表第1のかわりに別表第3の規定を適用する。また、変更後の第11条の規定並びに第12条の進級基準及び注意事項の規定については、なお、従前の例による。変更後の受験心得の規定については、施行日現在において在籍する者から適用する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。(第2条の別表第1及び別表第2、並びに第12条の進級基準の注意事項3の変更)

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。(第1条及び第2条第2項の規定の変更並びに第2条の別表第1及び別表第2付表2の変更)

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。ただし、改正後の第11条の規定については、平成26年度1年次入学生より適用し、施行日前日に現に在籍する者及び平成26年度に2年次以上に編入学等を行

う者については、なお従前の例による。(第11条の成績評価基準の制定及び第13条の改正並びに別表第1及び「留年者の次年次科目の受講と単位の修得について」の変更)

附 則

- 1 この規程は、平成27年4月1日から施行する。ただし、改正後の第11条第5項に規定する次年次科目の履修単位数の上限については、平成27年度1年次入学生より適用し、施行日前日に現に在籍する者及び平成27年度に2年次以上に編入学等を行う者については、上限を設定しない。(第11条第5項留年者の次年次科目の履修単位数の上限設定。別表の改正。「注意事項」、「留年者の次年次科目の受講と単位の修得について」、「進級基準」及び「受験心得」の整理。)
- 2 改正後の第4条第5項の規定にかかわらず、施行日前日に1年次に在籍する者のうち1年次に留年となった者の1年次前期科目の再試験にあっては、2度の受験を認めることがある。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。(第2条第2項の文言の整理並びに第2条の別表第1、別表第2及び別表第2付表2の変更)

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。(第2条の別表の変更並びに第8条第2項の削除)

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。(第2条の別表第1及び別表第2の変更並びに第4条及び第5条の変更)

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。(第2条の別表第1、別表第2、別表第3及び別表第3付表2の変更並びに別表第4の削除)ただし、変更後の別表第3の規定は、平成31年度6年次に在籍する者については、なお従前の例による。

別表第1(第2条第1項関係)〔平成29年度以降の1年次入学生及び2年次に編入学等を行った学生に適用〕
 年次別授業科目単位配分表
 (必修科目)

区分	授業科目	単位数	配当学年・学期と単位数												卒業の要件			
			1年		2年		3年		4年		5年		6年					
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後				
教養科目	外国語科目	英語Ⅰ	0.5															8.5単位
	英語Ⅱ	0.5		0.5														
	英語Ⅲ	0.5			0.5													
	英語Ⅳ	0.5				0.5												
	英語Ⅴ	0.5					0.5											
	英語Ⅵ	0.5						0.5										
	薬学英语Ⅰ	0.5							0.5									
	薬学英语Ⅱ	0.5								0.5								
	薬学英语Ⅲ	0.5										0.5						
	系自然科学科目	微分積分	1	1														
情報リテラシ	1	1																
統計学	1		1															
科体育	スポーツⅠ	0.5	0.5															
スポーツⅡ	0.5		0.5															
専門科目	入科目	薬学に親しむ	1	1														
	フレッシュャーズセミナー	0.5	0.5															
	合科目	くすりと科学Ⅰ	0.5	0.5														
	くすりと科学Ⅱ	0.5		0.5														
	基礎	化学平衡	1.5	1.5														
		電磁波・放射線と物質の相互作用	1.5		1.5													
		物質のエネルギーと物理平衡	1.5		1.5													
		物質の変化と反応速度	1.5			1.5												
		分子の構造	1.5	1.5														
		有機化学反応	1.5		1.5													
		官能基の性質	1.5			1.5												
		化学物質の構造解析	1.5			1.5												
		化学物質の構造決定	1.5				1.5											
		医薬品の定性定量分析	1.5				1.5											
	薬学	生体分子のコアとパーツ	1.5				1.5											
		薬用植物と生薬	1.5				1.5											
		生薬と天然由来活性物質・漢方薬	1.5					1.5										
		体の構造と機能	1.5	1.5														
		細胞の構造と機能	1.5	1.5														
		感染症と微生物Ⅰ	1.5		1.5													
		生命情報と遺伝子	1.5			1.5												
		感染症と微生物Ⅱ	1.5			1.5												
		生体防御と免疫	1.5				1.5											
		生体の情報伝達	1.5					1.5										
	科学	栄養の摂取と代謝	1.5			1.5												
		基礎科学実習Ⅰ	0.5	0.5														
		基礎科学実習Ⅱ	0.5	0.5														
		基礎科学実習Ⅲ	1		1													
		基礎科学実習Ⅳ	1		1													
		薬品有機化学実習	1			1												
人体構造学実習		0.5			0.5													
微生物学実習		1			1													
医薬品分析実習		1				1												
生化学実習		1				1												
目	生薬化学実習	0.5					0.5											
	衛生薬学科目	疫学と保健・医療統計	1.5			1.5												
	地球・生活環境と健康	1.5				1.5												
	化学物質と毒性	1.5					1.5											
	災害薬学	1											1					
	環境衛生実習	1						1										
	学医	病態生理	1.5			1.5												
	症候と検査・疾患	1.5					1.5											
	新潟地域でよく見られる疾病	1.5						1.5										
	薬理作用と薬物治療の基礎	1.5				1.5												

別表第1
(必修科目)

区分	授業科目	単位数	配当学年・学期と単位数												卒業の要件		
			1年		2年		3年		4年		5年		6年				
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後			
専 門 科 目	薬物の体内動態	1.5				1.5											156.5単位
	循環器系、血液・造血器系の疾患と薬	1.5				1.5											
	神経系の疾患と薬	1.5				1.5											
	感染症と薬	1.5				1.5											
	薬物動態の解析	1.5					1.5										
	臨床研究デザインと医薬品の評価	1.5					1.5										
	製剤の科学	1.5				1.5											
	呼吸器系・消化器系の疾患と薬	1.5				1.5											
	泌尿器系・生殖器系・感覚器・皮膚の疾患と薬	1.5					1.5										
	免疫系・炎症・アレルギー、骨・関節の疾患と薬	1.5					1.5										
	代謝系・内分泌系の疾患と薬	1.5					1.5										
	がんと薬	1.5						1.5									
	代表的な疾患における薬物治療の最適化	1.5						1.5									
	個別化医療と薬物治療	1.5						1.5									
	薬物治療に役立つ情報	1.5						1.5									
	製剤の形状と機能	1.5					1.5										
	最新医療を学ぶ	0.5									0.5						
	神経系疾患、脳血管障害の薬物治療	1													1		
	感染の制御と薬物治療	1													1		
	循環器系疾患の薬物治療	1													1		
	内分泌系疾患、腎疾患の薬物治療	1													1		
	精神神経系疾患の薬物治療	1													1		
	悪性腫瘍の薬物治療	1													1		
	緩和医療における薬物治療	1													1		
	診断と治療の先端医療	1.5													1.5		
	身体所見実習	0.5				0.5											
	製剤学実習	1					1										
	薬物治療学実習	1					1										
	社会保障制度と医療経済	1							1								
	薬事関連法規	1							1								
	地域医療における薬剤師	1							1								
	多職種間連携における薬剤師の役割	1					1										
	予防医療とプライマリケア	1							1								
	セルフメディケーションと一般医薬品	1							1								
	医薬品の供給と安全管理	1							1								
	薬剤師と法律・制度	1													1		
	呼吸器系・消化器系疾患の処方解析	1													1		
	免疫・アレルギー疾患、泌尿器系・生殖器系疾患の処方解析	1													1		
	薬剤使用評価	1													1		
	地域におけるボランティア活動	1				1											
	生命倫理Ⅰ	0.5	0.5														
	コミュニケーションを学ぶ	0.5	0.5														
	早期体験学習Ⅰ	1		1													
	地域住民の健康状態を知る	0.5				0.5											
	早期体験学習Ⅱ	1			1												
	患者から学ぶ医療倫理	0.5			0.5												
	患者の権利と法規範	0.5				0.5											
	医療人としての倫理観	0.5				0.5											
	生命倫理Ⅱ	0.5						0.5									
	医療用具の適正使用	0.5						0.5									
患者対応と服薬指導	1						1										
調剤学実習	1.5						1.5										
臨床実務実習事前学習Ⅰ	5							5									
臨床実務実習事前学習Ⅱ	2.5							2.5									
臨床実務直前演習	1							1									
臨床実務実習	20								20								
総合科目	卒業研究	10							10								
	薬学総括演習Ⅰ	2.5						2.5									
	薬学総括演習Ⅱ	5												5			

備考 1 網掛けした授業科目は、実習・実技・(実習扱いの)演習科目を表す。
2 必修科目の一部については履修に条件が付される場合がある。

別表第 1

3/4

(選択必修科目)

区分	授業科目	単位数	配当学年・学期と単位数												グループ	卒業の要件	
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年				
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後			
専 門 科 目	数学演習	1	1												①	各グループからそれぞれ1単位以上修得すること	
	基礎数学演習	1	1														
	化学演習	1	1														②
	基礎化学演習	1	1														
	生物学演習	1	1														③
	基礎生物学演習	1	1														
	物理学演習	1	1														④
	基礎物理学演習	1	1														
	物理化学演習 A	1		1													⑤
	物理化学演習 B	1		1													
	有機化学演習 I A	1		1													⑥
	有機化学演習 I B	1		1													
	有機化学演習 II A	1			1												⑦
	有機化学演習 II B	1			1												
	生物化学演習 I A	1			1												⑧
	生物化学演習 I B	1			1												
	生物化学演習 II A	1				1											⑨
	生物化学演習 II B	1				1											
	分析化学演習 A	1				1											⑩
	分析化学演習 B	1				1											
処方解析演習 I A	1					1								⑪			
処方解析演習 I B	1					1											
処方解析演習 II A	1						1							⑫			
処方解析演習 II B	1						1										
処方解析演習 III A	1							1						⑬			
処方解析演習 III B	1							1									
医療現場で役立つ物理学	1									1				⑭	2 単位以上修得すること		
医療現場で役立つ化学	1									1							
医療現場で役立つ生物学	1									1							
医療現場で役立つ衛生薬学	1									1							
医療現場で役立つ薬理学	1									1							

備考 1 選択必修グループ内の科目選択には履修に条件が付されることがある。

別表第1
(選択科目)

区分	授業科目	単位数	配当学年・学期と単位数												卒業の要件		
			1年		2年		3年		4年		5年		6年				
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後			
教養科目	外国語科目	ドイツ語Ⅰ	0.5		0.5												人文社会系科目1単位以上、自然科学系科目1単位以上をそれぞれ必ず含み、3単位以上修得すること ただし、ドイツ語、中国語、ハンブル、ロシア語はそれぞれⅠとⅡの組合せで修得すること
	ドイツ語Ⅱ	0.5			0.5												
	中国語Ⅰ	0.5		0.5													
	中国語Ⅱ	0.5			0.5												
	ハンブルⅠ	0.5		0.5													
	ハンブルⅡ	0.5			0.5												
	ロシア語Ⅰ	0.5		0.5													
	ロシア語Ⅱ	0.5			0.5												
	学術英語Ⅰ	0.5		0.5													
	学術英語Ⅱ	0.5		0.5													
	海外語学研修	1		1													
	人文社会系科目	経済学	1	1													
	法学	1	1														
	社会心理学	1		1													
	マス・メディア論	1			1												
	哲学	1			1												
	新潟の風土と歴史	1		1													
	新潟の食文化	1			1												
	文化人類学	1			1												
	自然科学系科目	植物学	1		1												
気象学	1		1														
昆虫と人のかかわり	1			1													
大地の構造と地震	1			1													
情報科学演習	0.5		0.5														
情報処理演習	0.5			0.5													
専門科目	衛生・臨床薬学系科目	運動生理	1			1										衛生・臨床薬学系科目、専門臨床系科目をそれぞれ1単位以上必ず含み、合計3単位以上修得すること	
	食品の安全管理	1					1										
	サプリメントと保健機能食品の科学	1									1						
	病気と栄養	1						1									
	スポーツ薬学	1						1									
	医薬品の開発と治験	1				1											
	アロマセラピー	1			1												
	化粧品科学	1					1										
	基礎科学系科目	目的化合物をつくる	1				1										
	医薬品の歴史	1				1											
	遺伝情報の臨床応用	1						1									
	リード化合物の創製	1				1											
	新薬の開発	1						1									
	専門臨床系科目	介護保険制度と医療福祉サービス	1										1				
	臨床心理学	1											1				
	薬局の役割と経営	1											1				
	地域医療の実践	1					1										
	海外医療事情を学ぶ	1									1						
	多職種連携Ⅰ	1							1								
	多職種連携Ⅱ	1							1								
応用生命科学部開講科目	#環境科学Ⅰ	1		1													
#化学工業とグリーンケミストリー	1					1											
#発酵醸造学	1						1										
#食品製造学	1									1							
#動物バイオテクノロジー	1									1							
#食品微生物学	1									1							
#微生物バイオテクノロジー	1									1							
#食品化学	1									1							
#バイオインフォマティクス	1									1							
#構造生物学とタンパク質工学	1										1						

備考 1 選択科目の一部については、開講しない場合がある。
 2 選択科目は各科目原則10回で構成される。
 3 #は応用生命科学部開講科目を表し、原則15回で構成される。当該科目の開講学期等については、応用生命科学部の開講状況により変更となる場合がある。
 4 選択科目の一部については、履修に条件が付されることがある。

別表第1付表 卒業要件単位区分表

区 分	教 養 科 目	専 門 科 目	合 計
必 修 科 目	8.5単位	156.5単位	165単位
選 択 必 修 科 目	—	15 単位以上	15単位以上
選 択 科 目	3 単位以上	3 単位以上	6単位以上
合 計	11.5単位以上	174.5単位以上	186単位以上

別表第2（第2条第1項関係）〔平成27年度及び平成28年度1年次入学生に適用〕

年次別授業科目単位配分表

1/4

(必修科目)

区分	授業科目	単位数	配当学年・学期と単位数												卒業の要件				
			1年		2年		3年		4年		5年		6年						
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後					
教養科目	外国語科目	英語Ⅰ	0.5	0.5															8.5単位
		英語Ⅱ	0.5		0.5														
		英語Ⅲ	0.5			0.5													
		英語Ⅳ	0.5				0.5												
		英語Ⅴ	0.5					0.5											
		英語Ⅵ	0.5						0.5										
		薬学英語Ⅰ	0.5							0.5									
		薬学英語Ⅱ	0.5								0.5								
		薬学英語Ⅲ	0.5												0.5				
		系自然科目	微積分	1	1														
情報リテラシ	1			1															
系体育科目	統計学	1		1															
		スポーツⅠ	0.5	0.5															
系体育科目	スポーツⅡ	0.5		0.5															
		薬学に親しむ	1	1															
系薬学導科目	フレッシュヤーズセミナー	0.5	0.5																
		くすりと科学Ⅰ	0.5	0.5															
系薬学総科目	くすりと科学Ⅱ	0.5			0.5														
		化学平衡	1.5	1.5															
専門科目	基礎	電磁波・放射線と物質の相互作用	1.5		1.5														
		物質のエネルギーと物理平衡	1.5		1.5														
		物質の変化と反応速度	1.5			1.5													
		分子の構造	1.5	1.5															
		有機化学反応	1.5		1.5														
		官能基の性質	1.5			1.5													
		化学物質の構造解析	1.5			1.5													
		化学物質の構造決定	1.5				1.5												
		医薬品の定性定量分析	1.5				1.5												
		生体分子のコアとパーツ	1.5					1.5											
		薬用植物と生薬	1.5						1.5										
		生薬と天然由来活性物質・漢方薬	1.5							1.5									
		体の構造と機能	1.5	1.5															
		細胞の構造と機能	1.5	1.5															
		感染症と微生物Ⅰ	1.5		1.5														
		生命情報と遺伝子	1.5			1.5													
		感染症と微生物Ⅱ	1.5			1.5													
		生体防御と免疫	1.5				1.5												
		生体の情報伝達	1.5					1.5											
		栄養の摂取と代謝	1.5					1.5											
薬学	基礎	基礎科学実習Ⅰ	0.5	0.5															
		基礎科学実習Ⅱ	0.5	0.5															
		基礎科学実習Ⅲ	1		1														
		基礎科学実習Ⅳ	1		1														
		薬品有機化学実習	1			1													
		人体構造学実習	0.5			0.5													
		微生物学実習	1			1													
		医薬品分析実習	1				1												
		生化学実習	1				1												
		生薬化学実習	0.5						0.5										
衛生薬学科目	衛生薬学科目	疫学と保健・医療統計	1.5			1.5													
		地球・生活環境と健康	1.5				1.5												
		化学物質と毒性	1.5					1.5											
		災害薬学	1													1			
		環境衛生実習	1						1										
学医療目薬	学医療目薬	病態生理	1.5			1.5													
		症候と検査・疾患	1.5					1.5											
		新潟地域でよく見られる疾病	1.5							1.5									
		薬理作用と薬物治療の基礎	1.5					1.5											

別表第2

(必修科目)

区分	授業科目	単位数	配当学年・学期と単位数												卒業の要件	
			1年		2年		3年		4年		5年		6年			
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後		
専門科目	薬物の体内動態	1.5					1.5									
	循環器系、血液・造血器系の疾患と薬	1.5					1.5									
	神経系の疾患と薬	1.5					1.5									
	感染症と薬	1.5					1.5									
	薬物動態の解析	1.5						1.5								
	臨床研究デザインと医薬品の評価	1.5						1.5								
	製剤の科学	1.5					1.5									
	呼吸器系・消化器系の疾患と薬	1.5					1.5									
	泌尿器系・生殖器系・感覚器・皮膚の疾患と薬	1.5						1.5								
	免疫系・炎症・アレルギー、骨・関節の疾患と薬	1.5						1.5								
	代謝系・内分泌系の疾患と薬	1.5						1.5								
	がんと薬	1.5							1.5							
	代表的な疾患における薬物治療の最適化	1.5							1.5							
	個別化医療と薬物治療	1.5							1.5							
	薬物治療に役立つ情報	1.5							1.5							
	製剤の形状と機能	1.5					1.5									
	最新医療を学ぶ	0.5								0.5						
	神経系疾患、脳血管障害の薬物治療	1												1		
	感染の制御と薬物治療	1												1		
	循環器系疾患の薬物治療	1												1		
	内分泌系疾患、腎疾患の薬物治療	1												1		
	精神神経系疾患の薬物治療	1												1		
	悪性腫瘍の薬物治療	1												1		
	緩和医療における薬物治療	1												1		
	診断と治療の先端医療	1.5												1.5		
	身体所見実習	0.5					0.5									
	製剤学実習	1						1								
	薬物治療学実習	1						1								
	社会保障制度と医療経済	1								1						
	薬事関連法規	1								1						
	地域医療における薬剤師	1								1						
	多職種間連携における薬剤師の役割	1						1								
	予防医療とプライマリケア	1								1						
	セルフメディケーションと一般医薬品	1								1						
	医薬品の供給と安全管理	1								1						
	薬剤師と法律・制度	1												1		
	呼吸器系・消化器系疾患の処方解析	1												1		
	免疫・アレルギー疾患、泌尿器系・生殖器系疾患の処方解析	1												1		
	薬剤使用評価	1												1		
	地域におけるボランティア活動	1					1									
	生命倫理Ⅰ	0.5	0.5													
	コミュニケーションを学ぶ	0.5	0.5													
	早期体験学習Ⅰ	1		1												
	地域住民の健康状態を知る	0.5					0.5									
	早期体験学習Ⅱ	1			1											
患者から学ぶ医療倫理	0.5			0.5												
患者の権利と法規範	0.5					0.5										
医療人としての倫理観	0.5					0.5										
生命倫理Ⅱ	0.5							0.5								
医療用具の適正使用	0.5							0.5								
患者対応と服薬指導	1							1								
調剤学実習	1.5							1.5								
臨床実務実習事前学習Ⅰ	5								5							
臨床実務実習事前学習Ⅱ	2.5								2.5							
臨床実務直前演習	1								1							
臨床実務実習	20									20						
卒業研究	10									10						
薬学総括演習Ⅰ	3								3							
薬学総括演習Ⅱ	5.5												5.5			
総合科目																
															157.5単位	

備考 1 網掛けした授業科目は、実習・実技・(実習扱いの)演習科目を表す。
 2 必修科目の一部については履修に条件が付される場合がある。

別表第2

(選択必修科目)

区分	授業科目	単位数	配当学年・学期と単位数												グループ	卒業の要件			
			1年		2年		3年		4年		5年		6年						
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後					
専門科目	数学演習	1	1												①	各グループからそれぞれ1単位以上修得すること			
	基礎数学演習	1	1																
	化学演習	1	1														②		
	基礎化学演習	1	1																
	生物学演習	1	1														③		
	基礎生物学演習	1	1																
	物理学演習	1	1														④		
	基礎物理学演習	1	1																
	物理化学演習A	1		1														⑤	
	物理化学演習B	1		1															
	有機化学演習I A	1		1															⑥
	有機化学演習I B	1		1															
	有機化学演習II A	1			1														⑦
	有機化学演習II B	1			1														
	生物化学演習I A	1			1													⑧	
	生物化学演習I B	1			1														
	生物化学演習II A	1				1												⑨	
	生物化学演習II B	1				1													
	分析化学演習A	1				1												⑩	
	分析化学演習B	1				1													
	処方解析演習I A	1					1											⑪	
	処方解析演習I B	1					1												
	処方解析演習II A	1						1										⑫	
	処方解析演習II B	1						1											
	処方解析演習III A	1							1									⑬	
	処方解析演習III B	1							1										
	医療現場で役立つ物理学	1									1							⑭ 2単位以上修得すること	
医療現場で役立つ化学	1									1									
医療現場で役立つ生物学	1										1								
医療現場で役立つ衛生薬学	1											1							
医療現場で役立つ薬理学	1												1						

備考 1 選択必修グループ内の科目選択には履修に条件が付されることがある。

別表第2

(選択科目)

区分	授業科目	単位数	配当学年・学期と単位数								卒業の要件																					
			1年		2年		3年		4年			5年		6年																		
			前	後	前	後	前	後	前	後		前	後	前	後																	
教養科目	ドイツ語Ⅰ	0.5			0.5																							2単位以上修得すること ただし、ドイツ語、中国語、ハングル、ロシア語はそれぞれⅠとⅡの組合せで修得すること				
	ドイツ語Ⅱ	0.5				0.5																										
	中国語Ⅰ	0.5				0.5																										
	中国語Ⅱ	0.5					0.5																									
	ハングルⅠ	0.5				0.5																										
	ハングルⅡ	0.5					0.5																									
	ロシア語Ⅰ	0.5				0.5																										
	ロシア語Ⅱ	0.5					0.5																									
	学術英語Ⅰ	0.5					0.5																									
	学術英語Ⅱ	0.5						0.5																								
	海外語学研修	1					1																									
	人文社会科学系科目	経済学	1	1																												
		法学	1	1																												
		社会心理学	1		1																											
		マス・メディア論	1			1																										
		哲学	1				1																									
		新潟の風土と歴史	1		1																											
		新潟の食文化	1			1																										
		文化人類学	1				1																									
		自然科学系科目	植物学	1		1																										
			気象学	1		1																										
	昆虫と人のかかわり		1				1																									
	大地の構造と地震		1				1																									
	情報科学演習		0.5		0.5																											
	情報処理演習		0.5				0.5																									
	専門科目	衛生・臨床薬学系科目	1					1																								
		運動生理	1						1																							
		食品の安全管理	1							1																						
サプリメントと保健機能食品の科学		1																							1							
病気と栄養		1								1																						
スポーツ薬学		1								1																						
医薬品の開発と治験		1						1																								
アロマセラピー		1				1																										
化粧品科学		1							1																							
基礎科学系科目		目的化合物をつくる	1					1																								
		医薬品の歴史	1					1																								
		遺伝情報の臨床応用	1								1																					
		リード化合物の創製	1					1																								
専門臨床系科目		新薬の開発	1							1																						
		介護保険制度と医療福祉サービス	1																								1					
		臨床心理学	1																								1					
		薬局の役割と経営	1																								1					
		地域医療の実践	1									1																				
		海外医療事情を学ぶ	1												1																	
		多職種連携Ⅰ	1										1																			
	多職種連携Ⅱ	1											1																			
	応用生命科学部開講科目	#環境科学Ⅰ	1		1																											
		#化学工業とグリーンケミストリー	1						1																							
#植物環境学		1						1																								
#発酵醸造学		1									1																					
#食品製造学		1																							1							
#動物バイオテクノロジー		1																							1							
#食品微生物学		1																							1							
#微生物バイオテクノロジー		1																							1							
#食品化学		1																							1							
#食品加工・保蔵学		1																							1							
#生体分子認識科学		1																							1							
#バイオインフォマティクス		1																							1							
#構造生物学とタンパク質工学	1																								1							
#食料・食品資源学	1																								1							

備考 1 選択科目の一部については、開講しない場合がある。
 2 選択科目は各科目原則10回で構成される。
 3 #は応用生命科学部開講科目を表し、原則15回で構成される。当該科目の開講学期等については、応用生命科学部の開講状況により変更となる場合がある。
 4 選択科目の一部については、履修に条件が付されることがある。
 5 専門必修科目「栄養の摂取と代謝」については、3年次への進級基準には用いない。

別表第2付表 卒業要件単位区分表

区 分	教 養 科 目	専 門 科 目	合 計
必 修 科 目	8.5単位	157.5単位	166単位
選 択 必 修 科 目	—	15 単位以上	15単位以上
選 択 科 目	2 単位以上	3 単位以上	5単位以上
合 計	10.5単位以上	175.5単位以上	186単位以上

別表第3（第2条第1項関係）〔平成23年度から平成26年度までの1年次入学生及び平成24年度から平成27年度に2年次に編入学等を行った学生に適用〕

1/4

年次別授業科目単位配分表

(必修科目)

区分	授業科目	単位数	配当学年・学期と単位数															
			1年		2年		3年		4年		5年		6年					
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後				
教養科目	英語リスニングⅠ（英語Ⅰ）	1	1															
	英語リーディングⅠ（英語Ⅱ）	1	1															
	英語リスニングⅡ（英語Ⅲ）	1		1														
	英語リーディングⅡ（英語Ⅳ）	1		1														
	保健体育理論	1	1															
	原子や分子の構造（基礎化学）	1	1															
	薬学の基礎物理（物理学）	1	1															
	微分積分	1	1															
	統計解析	1		1														
	情報リテラシ（情報科学概論・同実習）	1	1															
	体育実技Ⅰ	1	1															
	体育実技Ⅱ	1		1														
専門基礎薬学科目	薬学への招待Ⅰ	0.5	0.5															
	薬学への招待Ⅱ	0.5	0.5															
	薬学への招待Ⅲ	0.5	0.5															
	薬学への招待Ⅳ	0.5			0.5													
	疾患と薬学（薬学入門）	1			1													
	生命の大切さ（倫理とコミュニケーションⅠ）	1	1															
	症候と疾患（疾病と症状）	1			1													
	物質の構造と状態（基礎物理化学）	1		1														
	平衡の理論（薬品物理化学Ⅰ）	1			1													
	反応速度論（薬品物理化学Ⅱ）	1				1												
	物理化学から見た薬	1															1	
	化学平衡	1		1														
	物質濃度の測定（定量分析化学）	0.5			0.5													
	物質の分離と定量Ⅰ（薬品分析学Ⅰ）	0.5			0.5													
	物質の分離と定量Ⅱ（薬品分析学Ⅱ）	0.5				0.5												
	分析技術の臨床応用（臨床化学Ⅰ）	1					1											
	生体分子の解析	1			1													
	有機分子の構造Ⅰ（有機化学Ⅰ）	1	1															
	有機分子の構造Ⅱ（有機化学Ⅱ）	1		1														
	官能基の性質Ⅰ（薬化学Ⅰ）	1			1													
	官能基の性質Ⅱ（薬化学Ⅱ）	1				1												
	有機分子の構造決定（分子構造解析学）	1					1											
	目的化合物をつくる（合成化学）	1						1										
	生体分子のコアとパーツ（生物有機化学）	1						1										
	医薬品のコアとパーツⅠ（メディシナルケミストリーⅠ）	1							1									
	医薬品のコアとパーツⅡ（メディシナルケミストリーⅡ）	1								1								
	有機化学から見た薬	1																1
	自然が生み出す薬物Ⅰ（薬用植物学）	1	1															
	自然が生み出す薬物Ⅱ（生薬学）	1				1												
	細胞の構造と機能（生物学Ⅱ）	1	1															
体の構造と機能Ⅰ（機能形態学Ⅰ）	1	1																
体の構造と機能Ⅱ（機能形態学Ⅱ）	1		1															
感染症と微生物Ⅰ（微生物学Ⅰ）	1		1															
感染症と微生物Ⅱ（微生物学Ⅱ）	1			1														
細胞を構成する分子（生化学Ⅰ）	1		1															
生命活動とタンパク質（生化学Ⅱ）	1			1														

別表第3

3/4

(必修科目)

区分	授業科目	単位数	配当学年・学期と単位数												
			1年		2年		3年		4年		5年		6年		
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
専門科目	メディカル・スタッフの役割	1						1							
	病態と処方Ⅰ	1											1		
	病態と処方Ⅱ	1											1		
	病態と処方Ⅲ	1											1		
	病態と処方Ⅳ	1											1		
	病態と処方Ⅴ	1											1		
	症例と薬物治療Ⅰ	1											1		
	症例と薬物治療Ⅱ	1											1		
	症例と薬物治療Ⅲ	1											1		
	症例と薬物治療Ⅳ	1											1		
	症例と薬物治療Ⅴ	1											1		
	化学構造と薬理作用(薬理学演習)	0.5			0.5										
	衛生化学実習	1				1									
	薬理学実習	1			1										
	薬剤学実習	1			1										
	臨床化学実習	0.5				0.5									
	薬物治療学実習	1				1									
	調剤学実習	1				1									
	TDM実習	0.5				0.5									
	臨床実務事前実習	8						8							
	臨床実務実習	20							20						
	卒業研究Ⅰ	4						4							
	卒業研究Ⅱ	10								10					
総合薬学演習(討論学習Ⅲ)	2								2						
薬学総括演習Ⅰ	9							9							
薬学総括演習Ⅱ	11												11		

- 備考 1 網掛けした授業科目は、実習・実技・(実習扱いの)演習科目を表す。
 2 括弧内の名称は副科目名を表す。

別表第3
(選択科目)

区分	授業科目	単位数	配当学年・学期と単位数												卒業の要件	
			1年		2年		3年		4年		5年		6年			
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後		
教養科目	外国語AⅠ	0.5			0.5											自然科学系科目を必ず1単位以上含み、教養科目全体として5単位以上選択し修得すること。ただし、外国語A、B、C、DはそれぞれⅠとⅡの組合せで修得しなければならない。
	外国語AⅡ	0.5			0.5											
	外国語BⅠ	0.5			0.5											
	外国語BⅡ	0.5			0.5											
	外国語CⅠ	0.5			0.5											
	外国語CⅡ	0.5			0.5											
	外国語DⅠ	0.5			0.5											
	外国語DⅡ	0.5			0.5											
	人文社会A	1			1									1		
	人文社会B	1			1									1		
	人文社会C	1			1									1		
	人文社会D	1					1							1		
	人文社会E	1					1							1		
	人文社会F	1			1				1					1		
	自然科学系	薬学の基礎生物(生物学Ⅰ)	1	1												
基礎微積分		1	1													
基礎統計解析		1		1												
専門科目	科学と薬学Ⅰ	0.5		0.5												5.5単位以上選択し修得すること。
	科学と薬学Ⅱ	0.5		0.5												
	地域医療学	1		1		1										
	薬学英语Ⅱ	1				1										
	化粧品科学	1				1										
	薬物動態演習	1					1									
	社会保障と医療経済(医療経済学)	1						1								
	漢方医学の基礎(漢方概論)	1							1							
	薬学の生命科学(生命の科学)	1							1							
	食品衛生	1							1							
	疾患と栄養(臨床栄養学)	1							1							
	医薬品の開発と治験	1							1							
	メディカル・スタッフと共に学ぶⅠ(総合医療学習Ⅰ)	1								1			1			
	メディカル・スタッフと共に学ぶⅡ(総合医療学習Ⅱ)	1									1			1		
	分子の立体構造(生物物理化学)	1												1		
	保健機能食品の科学	1												1		
	医薬品の開発Ⅱ(臨床統計学)	1												1		
	薬局の役割と経営	1												1		
	新薬の開発と一般薬	1												1		
	#生体分子認識学	1									1					
	#食料・食品資源学	1										1				
	#栄養科学	1										1				
	#バイオインフォマティクス	1									1					
	#構造生物学とタンパク質工学	1											1			
	#食品安全学	1											1			
#動物バイオテクノロジー	1											1				
#ゲノム創薬	1											1				

- 備考 1 #は応用生命科学部開講科目を表す。
 2 括弧内の名称は副科目名を表す。
 3 選択科目の一部については、開講しない場合がある。
 4 教養科目の外国語A～D、人文社会A～Fの副科目名については別に定める。
 5 専門科目「地域医療学」は平成25年度1年次入学生及び平成26年度以降の入学生に配当する。

別表第3付表1 卒業要件単位区分表

区分	教養科目	専門科目	合計
必修科目	12単位	163.5単位	175.5単位
選択科目	5単位以上	5.5単位以上	10.5単位以上
合計	17単位以上	169 単位以上	186 単位以上

別表第3付表2

別表第3と別表第1・2の授業科目の対応表

区分	別表第3の授業科目	別表第1・2の授業科目	備 考
必	原子や分子の構造（基礎化学）	電磁波・放射線と物質の相互作用	
	薬学の基礎物理（物理学）	基礎物理学演習 物理学演習	※
	有機分子の構造Ⅰ（有機化学Ⅰ）	分子の構造	
	化学平衡、薬学の基礎計算演習	化学平衡	㊦
	自然が生み出す薬物Ⅰ（薬用植物学）	薬用植物と生薬	平成27年度以降は2・3年次への進級基準には用いない。
	体の構造と機能Ⅰ（機能形態学Ⅰ）	体の構造と機能	
	薬学への招待Ⅰ、薬学への招待Ⅱ	薬学に親しむ	㊦
	薬学への招待Ⅲ	早期体験学習Ⅰ	
	統計解析	臨床研究デザインと医薬品の評価	平成27年度以降は2・3年次への進級基準には用いない。
	有機分子の構造Ⅱ（有機化学Ⅱ）	有機化学反応	
修	体の構造と機能Ⅱ（機能形態学Ⅱ）	病態生理	平成27年度以降は2年次への進級基準には用いない。
	構造から理解する有機分子(有機化学演習)	基礎化学演習 化学演習	※
	生物学実習	基礎科学実習Ⅲ	
	物理化学実習	基礎科学実習Ⅳ	
	分析技術の臨床応用（臨床化学Ⅰ）、症候と臨床検査値（臨床化学Ⅱ）	症候と検査・疾患	㊦
	平衡の理論（薬品物理化学Ⅰ）	物質のエネルギーと物理平衡	
	生体分子の解析	化学物質の構造解析	
	薬品分析化学実習	医薬品分析実習	
	薬の効くプロセス（薬理学・薬物動態学序論）	薬理作用と薬物治療の基礎	
	物質の分離と定量Ⅰ（薬品分析学Ⅰ）、物質の分離と定量Ⅱ（薬品分析学Ⅱ）	医薬品の定性定量分析	㊦
	反応速度論（薬品物理化学Ⅱ）	物質の変化と反応速度	
	官能基の性質Ⅰ（薬化学Ⅰ）	官能基の性質	
	自然が生み出す薬物Ⅱ（生薬学）	生薬と天然由来活性物質・漢方薬	平成28年度以降は3年次への進級基準には用いない。
	生命活動のしくみ（生化学Ⅲ）	栄養の摂取と代謝	平成28年度以降は3年次への進級基準には用いない。
	薬品化学実習Ⅰ	薬品有機化学実習	
	社会・集団と健康（公衆衛生学）	疫学と保健・医療統計	
	薬理作用と副作用Ⅰ（薬理学・毒性学Ⅰ）	神経系の疾患と薬	平成28年度以降は3年次への進級基準には用いない。
	製剤の基礎（製剤学Ⅰ）	製剤の科学	平成28年度以降は3年次への進級基準には用いない。
	医療人としての心構え（倫理とコミュニケーションⅡ）	医療人としての倫理観	平成28年度以降は3年次への進級基準には用いない。
	目	有機分子の構造決定（分子構造解析学）	化学物質の構造決定
製剤設計（製剤学Ⅱ）		製剤の形状と機能	
衛生化学実習		環境衛生実習	
生体の防御（免疫学）		生体防御と免疫	
生活環境と健康（衛生化学Ⅳ）		地球・生活環境と健康	
医薬品情報と患者（医薬品情報学）		薬物治療に役立つ情報	平成29年度以降は4年次への進級基準には用いない。
患者との信頼関係（倫理とコミュニケーションⅢ）		患者から学ぶ医療倫理	
臨床化学実習		身体所見実習	
薬剤師と法律・制度Ⅰ（薬事関係法規・制度）		薬事関連法規	
メディカル・スタッフの役割		多職種間連携における薬剤師の役割	3年次科目として履修する。4年次への進級基準には用いない。
薬剤師と法律・制度Ⅱ		薬剤師と法律・制度	
病態と処方Ⅰ		精神神経系疾患の薬物治療	

区分	別表第3の授業科目	別表第1・2の授業科目	備 考
必修科目	病態と処方Ⅱ	神経系疾患、脳血管障害の薬物治療	
	病態と処方Ⅲ	呼吸器系・消化器系疾患の処方解析	
	病態と処方Ⅳ	悪性腫瘍の薬物治療	
	病態と処方Ⅴ	循環器系疾患の薬物治療	
	症例と薬物治療Ⅰ	免疫・アレルギー疾患、泌尿器系・生殖器系疾患の処方解析	
	症例と薬物治療Ⅲ	内分泌系疾患、腎疾患の薬物治療	
	症例と薬物治療Ⅳ	感染の制御と薬物治療	
	症例と薬物治療Ⅴ	緩和医療における薬物治療	
	物理化学から見た薬	医療現場で役立つ物理学	※2
	有機化学から見た薬	医療現場で役立つ化学	※2
	生命体と薬	医療現場で役立つ生物学	※2
	予防薬学と社会薬学	医療現場で役立つ衛生薬学	※2
	最新薬理学、副作用・相互作用	医療現場で役立つ薬理学	※2、※3、㊦
選択科目	外国語AⅠ	学術英語Ⅰ	
	外国語AⅡ	学術英語Ⅱ	
	外国語BⅠ	ドイツ語Ⅰ	
	外国語BⅡ	ドイツ語Ⅱ	
	外国語CⅠ	中国語Ⅰ	
	外国語CⅡ	中国語Ⅱ	
	外国語DⅠ	ハングルⅠ	
	外国語DⅡ	ハングルⅡ	
	人文社会A	医薬品の歴史	
	人文社会B	法学 社会心理学 文化人類学	※
人文社会C	哲学		
人文社会D	経済学		
科	薬学の基礎生物（生物学Ⅰ）	基礎生物学演習 生物学演習	※、選択科目として進級・卒業基準に用いる。
	基礎微分積分	基礎数学演習 数学演習	※、選択科目として進級・卒業基準に用いる。
	基礎統計解析	統計学	選択科目として進級・卒業基準に用いる。
	地域医療学	地域医療における薬剤師	選択科目として進級・卒業基準に用いる。
	社会保障と医療経済（医療経済学）	社会保障制度と医療経済	選択科目として進級・卒業基準に用いる。
	疾患と栄養（臨床栄養学）	病気と栄養	
	メディカル・スタッフと共に学ぶⅠ（総合医療学習Ⅰ）	多職種連携Ⅰ	
	メディカル・スタッフと共に学ぶⅡ（総合医療学習Ⅱ）	海外医療事情を学ぶ	
	保健機能食品の科学	サプリメントと保健機能食品の科学	
	医薬品の開発Ⅱ（臨床統計学）	薬剤使用評価	選択科目として進級・卒業基準に用いる。
新薬の開発と一般薬	新薬の開発		
目			

注意 付表2に対応を示した授業科目以外で、別表第3と別表第1・2における名称が同じ授業科目については、そのまま対応させる（ただし薬学英語Ⅰ及びⅡを除く）。

別表第1・2及び付表2のいずれも記載のない科目については別途開講する。ただし以下の1) 4)の科目は以下の通りに進級判定を行う。

- 平成27年度以降は2年次への進級基準に用いず、2年次に進級判定を行う：「英語リスニングⅠ（英語Ⅰ）」、「英語リスニングⅡ（英語Ⅲ）」、「細胞を構成する分子（生化学Ⅰ）」
- 平成27年度以降は2・3年次への進級基準に用いず、3年次に進級判定を行う：「統計解析」
- 平成28年度以降は3年次への進級基準に用いず、3年次に進級判定を行う：「薬学英語Ⅰ」、「有害物質と生体（衛生化学Ⅱ）」、「生薬学実習」、「薬理学実習」
- 平成29年度以降は4年次への進級基準に用いず、4年次に進級判定を行う：「処方せんと調剤Ⅰ（臨床薬剤学）」

※ 対応科目のうち、いずれか一つを履修する。

※2 読み替え単位の認定は6年次進級後に行う。

※3 6年次進級後に別途開講される不足分の授業コマを履修する必要がある。

㊦ 2科目を合わせ、1科目を対応させる。